

令和6年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【その他】

掲載数

10

管轄	学年	教科等	テーマ	内 容	参考事項（講師・教材等）
1 横須賀市	高複合	その他	アゲハ蝶の幼虫 育て	6月、アゲハ蝶の幼虫をもらった高2の生徒は、虫好きの中1生徒と小3児童に分けてくれた。エサの与え方や飼育方法が違くと成長の度合いに差が現れるので、3人の生徒には互いの教室を訪ね合ったり情報交換したりする楽しみが生まれた。虫好きの3人は幼虫をふ化まで導くことができた。 小3のさなぎは授業参観日にふ化をした。小1の生き物好きの児童は、目の前でさなぎから蝶になる姿を見て感動し、手のひらから空へ飛び立つ「巣立ち」を見届けることができた。	
2 湘南三浦	高複合	その他	農作物の収穫	校内の畑で野菜の種まき、苗植え、水やり、草取り等の作業を行いながら作物を育て、市民センター販売会で、販売を行った。秋には、文化祭（白浜祭）において、保護者への販売を行った。農作物を育て、収穫することで、食への関心を高めたり、就労意識を育んだりすることができた。	作業学習（各教科等を合わせた指導）で継続的に実施
3 神奈川県	高3	その他	防災学習 「地震発生から72時間をどう生き残るか」	地震発生から72時間が人命救助の1つの基準となる。地震発生後の避難の仕方や避難場所について、避難所での周囲の方々へ配慮した快適な過ごし方について、写真や体験した方の話を参考に考えをワークシートにまとめた。学習のまとめとして、そなエリア東京内の「東京直下72hTOUR」に参加した。生徒それぞれが事前学習や防災体験を通して、自らの命を自らで守るという、防災の意識を高めることができた。	東京臨海広域防災公園の職員の方からの話を聞いた。 「東京直下72hTOUR」（防災体験）に参加したことで、実感を伴った学習になった。
4 神奈川県	高3	その他	「自己評価を見直そう」	自己評価が厳しく、活動に自信を持てない生徒が多い。そこで自分の特性を教員と一緒に考えたり、評価者が他者（実習先）とする題材を設定したりした。 今までの経験とその時の自己評価を、別の観点からどうであろうかと考え直した。また、実習評価者と自分の評価とどちらに妥当性があるかを確認させた。年間通して、個別や全体に伝え続けたことで、「できるかわからないけど、大丈夫。」と自分の自己評価に自信を持つ生徒が増えた。	「どの様に考える？」と質問し、生徒個々の認知や特性、家庭・進路状況に応じ、投げかける言葉とタイミングを配慮した。
5 神奈川県	中複合	その他	音楽劇「くまの校長先生」	「くまのこうちょうせんせい」の絵本を元に教員による音楽劇を行った。生徒によって実態に差があるため、より関心をもって見たり聞いたりできるよう、ペープサートや歌を交える等の工夫をした。また、絵本のあらすじやテーマを理解しやすいよう、クイズを用いながら振り返りを行った。病気になったこうちょうせんせいを助けるために、勇気を出したひつじくんの姿に対し、笑顔になったり賞賛したりする姿が見られた。	・肢体不自由教育部門 中学部1～3年生 ・「くまのこうちょうせんせい」（こんのひとみ作）

6	神奈川県	小複合	その他	心と体を大切に する週間	自分の良さや相手の良さに気づき、人を大切にする、命の誕生について知り、命の大切さを考えることを目的に「心と体を大切にする週間」を設定した。セラピードッグとのふれあいを通して、いのちを感じ、相手に対して優しく大切にふれあう経験をした。セラピードッグに触り、「あたたかさ」や「ふわふわ」「もふもふ」の気持ちよさを感じることができた。また、セラピードッグに聴診器をあて、心臓の鼓動を聞いた。	一般社団法人ドッグセラピーいぬとも
7	神奈川県	高 3	その他	心と体の学習	「意思決定支援」の一つとして「心と体の学習」に取り組んだ。高等部3年生では、自己理解、他者理解、自己肯定感、意思決定、性被害予防、避妊の大切さを知ることが目的に授業を展開した。その中の一つ「妊娠・出産」の授業では、栄養や健康など、次に命をつなぐための体づくりについて知り、体とともに自分の心を守ることの大切さについて理解を深めた。	ワークシート、スライド、タブレット端末、動画「うまれる」、人形、参道トンネル
8	神奈川県	高複合	その他	作業学習 「ジャンボタニシの駆除活動」	水稻を食害するスクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）の駆除活動に農業体験の一環として協力参加した。事前にペットボトルで駆除用のわなの作成にも取り組んだ。生徒達は3種類ある餌の中で、どのエサが一番捕獲できるか考えたり、どこにわなを仕掛けたらよいか場所を工夫したりする様子が見られ、一つひとつ丁寧にわなを設置した。	大井分教室 作業班 上曽我公園整備班11名
9	神奈川県	高 2	その他	性教育(プライベートゾーン)	「プライベートゾーンについて考え、自分の身体や相手の身体を大切にしようとする心情を育てる」を目標に授業を行った。①プライベートゾーンがなぜ大切なのかを考える。②男性・女性のプライベートゾーンを知る。③突然触られたらどうしたらいいかロールプレイを行う。④まとめ…身体の性的な部分、赤ちゃんをつくり育てていくために必要、簡単に見せない・触らせない、「誰が、いつ、どこで、どのように触れていいか、決めるのは自分」との内容で学習を行い、生徒に自分の身体を大切にしようとする姿勢が感じられた。	・パワーポイントでイラストを表示
10	神奈川県	中複合	その他	カブを育てよう	社・理・家（社会・理科・家庭科）の授業で「カブを育てよう」という内容を実施した。畑がないためプランターを使用して種まきから収穫までの流れを授業の中で学習した。4月に種まきをして成長の記録をiPadで記録し生徒と確認していくことで、カブの成長には水や太陽などいろいろな要素が必要なのだということを学ぶことができた。また、野菜を含め、食事をする時には感謝の気持ちを持つことが大切であることを学習した。	・肢体不自由教育部門 中学部1～3年 ・実施月は4月～7月